

拠出金名：国際農業研究機関拠出金

国際機関等名	国際昆虫生理生態センター (英文名称・略称) International Centre of Insect Physiology and Ecology (ICIPE)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	(その他)
所轄官庁担当局課名	農林水産省技術会議事務局国際研究課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	0				(2005年)	
平成16年度	0				(2004年)	
平成15年度	22,593	185		1\$= 122 円	(2003年) 100	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2003年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 185,183ドル		
1位	日本	185	100	当該年度の支出 185,183ドル		
2位				次年度への繰越 0ドル		
3位				会計検査機関名		
4位				ICIPE Governing Council		
5位				(現在の構成員の出身国:)		
上記の率及び順位は2003年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICIPEは、応用昆虫学、持続的病害虫防除技術開発、有益昆虫利用に関する開発途上地域唯一の国際研究機関であり、アフリカ有数の国際研究機関である。また、研究者研修・地域農民教育等の人材育成・技術普及活動においても重要な役割を果たしている。 本研究所と農林水産省との共同研究「アフリカにおける主要病害虫の生物的・生態的防除技術の開発」については、アフリカ地域の持続可能な農業の発展に大きく貢献した。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
現地スタッフの大幅削減や研究テーマの絞り込み、日本事務所の閉鎖に見られるような事務拠点の整理等、活動の合理化、機能強化のための取り組みが積極的に行われている。						
邦人職員数 うち幹部以上	2人 (注2) うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	0 人 0 %			
邦人職員が占めている幹部ポスト(注4)						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2) 邦人職員数は2003年現在。